

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
健康	2年	前期	講義	1単位	大窪 智美
<p>○授業の到達目標及びテーマ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康なところと体を育てることの大切さを理解する。 2. 子どものところと体の発育の特徴を理解し、健康指導に活かすことができるようになる。 3. 健康に関連する年中行事について理解すると共に、家庭や地域社会と連携した取り組みについて理解する。 4. 適切な基本的生活習慣を獲得することの大切さを理解し、健康指導に活かすことができるようになる。 5. 子どもが安全・安心な生活を送るために、実践すべき安全教育について考えることができるようになる。 					
<p>○授業の概要</p> <p>乳幼児期は心身の発達・運動発達において、大人とは違った特徴や意義があることを理解し、その相違を幼児の基本的生活習慣の確立、安全な生活、身体活動の指導内容に繋げる。</p>					
<p>○授業計画</p> <p>第1回：子どもにとっての健康とは何か</p> <p>第2回：子どもの心身の発育及びそれを支える保育者の役割</p> <p>第3回：子どもの生理機能の発達と健康</p> <p>第4回：子どもの運動機能の発達と健康</p> <p>第5回：季節の遊びや行事と健康</p> <p>第6回：子どもの運動意欲を育む工夫と運動遊びの在り方</p> <p>第7回：幼児期における基本的生活習慣獲得の重要性</p> <p>第8回：食生活の獲得と健康</p> <p>第9回：清潔習慣・排泄習慣の獲得と健康</p> <p>第10回：睡眠習慣・着脱習慣の獲得と健康</p> <p>第11回：現代社会における子どもの生活習慣の問題点と改善策</p> <p>第12回：子どもの事故の実態と防止対策</p> <p>第13回：危険や安全に対する意識を育む安全教育の在り方</p> <p>第14回：子どもの健康づくりとSDGSの取り組み</p> <p>第15回：子どもの健康と家庭・地域との連携</p> <p>定期試験</p>					
<p>○テキスト</p> <p>「幼稚園教諭・保育士をめざす 保育内容 健康」安倍大輔・井筒紫乃・川田裕次郎編著．圭文社</p>					
<p>○参考書・参考資料等</p> <p>「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省．フレーベル館</p> <p>「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省．フレーベル館</p> <p>「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省．フレーベル館</p>					
<p>○学生に対する評価</p> <p>定期試験 60% 課題 40%</p>					

